

特別展

「茶の湯 家元の四季」

2011年10月22日(土)～11月30日(水)

毎週月曜日 休館

開館時間 9:30～16:30 (入館は16:00まで)

主催：表千家北山会館

後援：京都府・京都市・京都府教育委員会・京都市教育委員会
京都新聞社・京都市内博物館施設連絡協議会
第26回国民文化祭京都実行委員会

～館内のご案内～

□ 3階 展示会場

□ 2階 展示会場
立礼席 呈茶席

□ 1階 受付 (休憩所・電話)

□ 地階 ビデオ上映 (清友ホール)
「茶の湯歳時記」(約30分)
上映時間 10:00～ 繰り返し上映 (15:45 頃終了)
* 尚、10/27・29・11/12 はビデオ上映が
ございません。予めご了承ください。

※ 展示道具の写真撮影は、ご遠慮ください。

※ 館内は全面禁煙ですので、ご協力をお願いします。

※ 本会期中に展示する全ての道具を記載しております。
途中、一部道具を入れ替える場合がありますので、
予めご了承ください。

表千家北山会館

2 階 展 示 会 場

「雪」

掛 物	「雪」双幅 而妙齋筆一行「山光無古今」／ 西山英雄画	
炉 縁	惺齋好 雪花蒔絵 真塗	中村宗哲作
茶 碗	即中齋手造 黒 銘 雪間草	
茶 器	惺齋好 雪花模様 スリ漆 金輪寺	黒田正玄作
茶 杓	即中齋作 十二ヶ月 雪花蒔絵 而妙齋追銘 冬ごもり	

「月」

掛 物	「月」双幅 而妙齋筆一行「清風拂明月」／ 東山魁夷画	
茶 器	惺齋好 八景棗 石山秋月	中村宗哲作
茶 碗	碌々齋手造 黒 銘 月斧 利休三百年忌ノ節（明治 23 年 1890）	
茶 碗	白 平 銘 水月 碌々齋在判	樂弘入作
香 合	了々齋好 ゴマ竹三日月	黒田正玄作

「花」

掛 物	「花」双幅 而妙齋筆一行「満目は春風」／ 西山英雄画	
茶 碗	而妙齋好 花ノ白河	永樂即全造
茶 器	即中齋好 内霞花吹雪棗	中村宗哲作
水 指	而妙齋好 南鐐 花くらべ	中川浄益作

「雪月花」

花 入	而妙齋好 雪月花 透し	黒田正玄作
皆 具	而妙齋好 雪月花	永樂即全造
香 合	而妙齋好 雪月花	永樂即全造
服 紗	而妙齋好 雪月花 緞子	土田友湖作
服 紗	而妙齋好 雪月花 染 三種	土田友湖作
茶 器	即中齋好 誰ヶ袖蒔絵 春夏秋冬	中村宗哲作

呈茶ロビー	掛物	如心齋・中村宗哲合筆 月面賛 開炉の催しもほど近ければ 一会を設けて 「客ひとり 風炉も名残りの 月見かな」 「袂にたまる 菌の栗柿」	如心齋 宗哲
立礼席	掛物	而妙齋筆「錦秋北山輝」	
	花入	唐銅 柑子口	大西清右衛門作
	而妙齋好	扇面立礼卓	
	釜	瓢形 瓢箪鑲付	大西浄中作
	水指	黄交趾 花丸紋	永樂即全造
	茶器	惺齋好 平和棗	中村宗哲作
	茶碗	赤 松ノ絵	樂弘入作
	替茶碗	大八洲	永樂即全造
	茶杓	牙	
	建水	唐銅 コマツナギ	
	蓋置	備前 竹	金重道明作

3 階 展 示 会 場

「炉開きのころ」（11月） 口切り・茶事の道具組より

茶 壺	如心齋銘 藤浪	
花 入	吸江齋作 置筒 銘 男山	
掛 物	啐啄齋筆 横物「萬歳緑毛亀」	
釜	繰口国師 鬼面鑲付	大西浄雪作
香 合	碌々齋手造 青ツボツボ	
水 指	青備前	
縁 高	即中齋好 縁朱黒	飛来一閑作
茶 入	瀬戸新兵衛 銘 老養	
茶 碗	了々齋手造 黒 銘 長袴	
出服紗	而妙齋好 松宝緞子	土田友湖作
茶 杓	了々齋作 共筒 二本入 詩銘 嘉辰令月飲無極・萬歳千秋樂未央	
薄茶器	吸江齋好 玉ノ絵棗 一双（大・小）	中村宗哲作
薄茶替茶碗	安南写 長ノ字	永樂保全造
干菓子器	惺齋好 蓬萊ノ絵桐銀縁青海盆	駒澤利齋作

3 階 展 示 会 場

「初春」(1月) 初釜の道具組より

—濃茶席—

釜	七宝地紋 ^{なでがた} 撫肩	兎鑲付	大西浄清作
茶 碗	葵御紋写		樂長入作
掛 物	徳川 ^{はるとみ} 治宝侯筆	玉ノ絵	前ニ 盆石「カウネンキ」(桂盆)
替茶碗	惺斎好	嶋台	樂弘入作
出服紗	而妙斎好	干支 染	土田友湖作
茶 杓	覚々斎作	共筒 銘 白兎	
茶 入	信楽 ^{おおぶく} 大福写		
風炉先	而妙斎好	浅黄大高 ^{すなご} 金砂子腰風炉先屏風	奥村吉兵衛作
棚	柱溜塗真台子		中村宗哲作
水 指	干支 銘 ^{ちくぶしま} 竹生島 (卯)		永樂善五郎造
柄杓立	而妙斎好	南鐐 ^{なんりょう} 紅梅紋皆具ノ内	中川浄益作
建 水	而妙斎好	南鐐 紅梅紋皆具ノ内	中川浄益作
蓋 置	而妙斎好	南鐐 紅梅紋皆具ノ内	中川浄益作
火 箸	而妙斎好	南鐐 ^{しいがしら} 椎頭	中川浄益作
薄茶器	即中斎好	鳳凰蒔絵大棗	中村宗哲作

—薄茶席—

置 物	仁清写	宝船	永樂即全造
茶 碗	赤 串柿ノ絵		樂長入作
替茶碗	伝来写 ^{ほうらいさん}	蓬萊山葵御紋	永樂保全造
茶 杓	啐啄斎作	共筒 銘 福寿草	

「早春」(2~3月)

棚	惺斎好 ^{こうぶんだな} 好文棚		中村宗哲作
水 指	黄瀬戸		
釜	繰口丸	鬼面鑲付	大西浄中作
掛 物	不言斎宗員筆	立雛ノ絵	惺斎賛
茶 碗	鶏合わせノ絵		永樂和全造

「桜のころ」(4月)

棚	而妙斎好 春野旅簞笥	中村宗哲作
掛 物	即中斎筆 横物「春風」 替判 軸先 飛来一閑作 表具好	
釜	^{うらこ} 裏甲 桜地紋 鬼面鑲付	大西浄中作
茶 器	吸江斎好 一閑張 夜桜中棗 夜桜塗 中村宗哲	飛来一閑作
釜	伝来写 羽子板 惺斎筆「且坐喫茶」ノ文字 ^{さい} 賽鑲付	大西浄長作
茶 碗	吸江斎手造 赤 銘 アクビ	
水 指	瀬戸大壺写 デルフト窯	

「初風炉のころ」(5~6月)

掛 物	即中斎筆 馬面賛 「此馬に乗りて千里を飛びまわれ 達者を己が鞭 ^{おのむち} にこそして」	
茶 碗	仁清写 即中斎銘 手遊	永樂即全造
水 指	伝来 捻ヌキ写 萩	坂倉新兵衛作
花 入	惺斎好 江ノ島サザエ籠	

「盛夏のころ」(7~8月)

掛 物	古画 祇園会巻物切ノ内 白樂天山ノ図 表具 長刀鋒稚児衣装裂ヲ以テ	
茶 碗	即中斎好 祇園御紋 団扇ノ絵 平 一双	永樂即全造
茶 杓	惺斎作 銘 祇園会	
釜	御座船 龍頭 ^{げき} 鑲付	宮崎寒雉作
風 炉	唐銅 朝鮮	大西浄清作
掛 物	即中斎筆 ^{ちまき} 粽画賛 軸先 飛来一閑作 「祇園会や 真葛が原に 風薫る」(与謝蕪村 句)	

桑小卓		駒澤利斎作
置き合わせ	即中斎好 色鍋島水指 今泉今右衛門作 山中製 コマ茶器 惺斎好 平建水 樂弘入作 唐銅 サザエ蓋置	

3 階 展 示 会 場

「盛夏のころ」(7～8月)

水 指	南蛮写 平 即中斎銘 湖 割蓋 飛来一閑作	永樂即全造
掛 物	如心斎筆 大文字画賛「妙法大文字 東山北嶺中」	
茶 碗	掛け分け 銘 天ノ川	樂慶入作
花 入	竹舟 而妙斎銘 涼風	黒田正玄作
水 指	伊太利ガラス 末広	

「初秋のころ」(9月)

茶 器	如心斎好 ツボツボ棗	中村宗哲作
菓子器	大樋 四方食籠 ススキの彫	
花 入	覚々斎好 手付置籠	
茶 碗	赤 井戸形	樂弘入作

「晩秋のころ」(10月)

掛 物	如心斎筆 菊画賛「南山に見てこそ あそべ 菊の酒」	
花 入	置尺八 初霜写	黒田正玄作
茶 碗	黒 ^{がんどり} 雁取写	樂弘入作
掛 物	^{たいしつそうしん} 太室宗宸和尚筆「 ^{どっきょ} 独居」	
水 指	須恵窯 朝鮮唐津	
釜	了々斎好 刷毛目姥口 鬼面鑲付	大西浄元作
風 炉	啐啄斎好 鉄道安 敷瓦シキテ	大西浄元作

※ 今回の展示にあわせて、茶の湯の世界の四季や、家元の茶室などを紹介する解説冊子を作成いたしました。ご希望の方は1階受付にてお求めください。

[500 円]